

小豆島町学校ICTレポート

先生も学んでいます

○先生も学んでいます

学校で学ぶ子どもたちと同じく、先生も新しいことを学んでいます。iPadが登場して約10年です。10年前に、学校で1人1台のiPadを使った授業を行うことは、先生たちを含め誰も予想していないことでした。学校全体で1人1台のiPadを使った授業を模索しています。不確実な未来を生きるとはこういうことかもしれません。

○教員向け「iPad研修」

前回のレポートで、iPadは直観的で使いやすい学習者用端末と紹介しました。しかし使ったことがある先生でも、基本的な操作や基本アプリの使い方を見落としていることがあります。

この研修では、電源のONとOFF、キーボードの使い方、カメラ操作やメモを使った文字入力の方法などiPadの基本的な操作を学びました。

○教員向け「ロイロノート研修」

香川県教育センターから講師の方を招いて行った研修です。ロイロノートとは授業支援アプリで、来年度から本格的に小豆島町のすべての小中校で使う予定のものです。講師の方から基本的な操作方法や授業活用のヒントなど、いろいろ教えていただきました。ロイロノートについては、別の機会です詳しく紹介する予定です。

また講師の方も1人1台の学習者用端末が教室に入ることによって「新しい授業を確立してください」と力説していました。



教員研修(星城小)



教員研修(安田小)



教員研修(池田小)

○充電保管庫も学校にやってきました

3月5日、各学校の各クラスに1台、iPad用の充電保管庫が納品されました。実は到着が1カ月遅れになりました。新型コロナウイルスの影響で世界中の人たちが、いつもよりオンライン通販で多く買い物をしています。そのため外国航路のコンテナに空きが少なくなり、到着が遅れて、iPadよりも後になってしまいました。

新しく入った充電保管庫は、タイマー機能と輪番充電機能がついています。タイマー機能で決まった時間だけ充電ONにできます。輪番機能は、すべてのタブレットを一気に充電するのではなく、棚の位置によって順番に充電ONにする機能です。クラスの新しい仲間です。大切に使ってください。



設置作業中

充電保管庫

小豆島町の目標

全児童生徒が1日1時間はiPadを使った授業を受ける